

令和6年芽室町議会定例会6月定例会議一般質問

令和6年6月18日再開

質問議員氏名	質問項目	質問の内容・要旨	答弁を求める者
渡辺洋一郎 (60分間)	1 子どもにやさしいまちづくりについて	<p>本町は2006年に「芽室町子どもの権利に関する条例」を定めており、「第5期芽室町総合計画」において、子どもの権利を保障し、子どもたちが健やかに育つ環境づくりや、子育て支援体制整備に取り組んでいます。子どもが一人の人間として個性が認められ、健やかに育つ環境をつくるためには、昨今の社会情勢を踏まえながら、これまで取り組んできた施策についても検証・発展させていく必要があると考え、以下3点について伺います。</p> <p>① 子どもの権利に関する条例制定から18年が経過しましたが、条例の認知度が高くない現状について、どのように分析し、今後どのような取組をしていくのか、町長の見解を伺います。</p> <p>② 子育て支援についての施策情報が一元化されておらず、町民からは「情報を掴みにくい」との声も聞きますが、町民への情報発信についての工夫と今後の展望について、町長の見解を伺います。</p> <p>③ 少子高齢化という時代背景を捉えた新たな「子どもにやさしいまちづくり」を実践する観点で、条例の趣旨である「子どもの権利を保障する」ことに加え、「子どもの権利を守り育てる」ための広範多岐な支援や対策を充実・拡充することが重要と考えますが、現状の評価と今後の展望について、町長の見解を伺います。</p>	町長
菊池秀明 (30分間)	1 景観条例制定に向けた展望について	<p>本町における景観行政の取組は、第3期総合計画（1996-2010）では、主要施策を「関係する計画と調整を図りながら、景観形成計画を策定し、美しい景観のまちづくりの目標・指針・基準（ガイドライン）などを定めるとともに景観条例を策定します。」とし、第4期計画（2008-2017）では、施策の方針を「美しい自然環境の保全と循環型社会に向けたエネルギーの有効利用を進めます。」としてクリーンエネルギーとの関係性を付加し、現行の第5期計画は、この意思を基本的に引き継ぐ施策となっております。</p> <p>これまでの間、町では、都市計画マスタープランの策定や運用にあたり、域学連携や住民組織による調査研究を実践するなど、「景観行政団体」への移行や「景観条例」の必要性についても、様々な検討を重ねてきたと捉えています。</p> <p>このたび、日高山脈襟裳国定公園の国立公園化に向けて、本町においても、よりいっそう自然景観を保持するための取組を強化すべきと考えることから、次の3点について町長の見解を伺います。</p> <p>① 本町における「景観行政」に係る取組みについて、これまでの成果と課題について、町長の見解を伺います。</p> <p>② 近年、道内における外資の土地買収の加速や、山林・原野等の土地所有者の維持管理・継承における</p>	町長

質問議員 氏名	質問項目	質問の内容・要旨	答弁を 求める者
(菊池秀明)		<p>課題、それらに付随した自治体が意図しない民間企業による乱開発等、景観維持におけるあらゆる課題が散見されておりますが、本町における現状、課題、今後の展望について、町長の見解を伺います。</p> <p>③ 本町における自然環境との共生と次世代への継承に関する取組として、将来ビジョンについて、町長の見解を伺います。</p>	
堀切 忠 (45分間)	<p>1 国民健康保険税の負担軽減について</p> <p>2 健康保険証のマイナンバーカードへの一本化に係る課題について</p>	<p>全国的な傾向として、近年の物価高騰に労働者の賃金が追い付かず、実質賃金が直近 10 年間（2022 年時点）で年間 24 万円も減少し、家計を圧迫している実態があります。このことは本町も例外でなく、町民の日常生活への影響は極めて大きく、行政に期待する支援として「医療・介護の充実」、「国保・介護保険等の保険料（税）の引き下げ」が、強く求められています。</p> <p>そこで、町民の暮らしを守る立場から、町独自の新たな社会保障制度の充実・拡充として、国民健康保険税に係る 3 点について町長の見解を伺います。</p> <p>① 令和 12 年度の保険料水準の完全統一に向けて、町の国保税の推移をどのように捉えているのか、町長の見解を伺います。</p> <p>② 令和 4 年、国は未就学児にかかる均等割の 5 割軽減を実施しましたが、本町として均等割を廃止するか、または、さらなる軽減(対象年齢の引上げ等)を図るか、町長の見解を伺います。</p> <p>③ 町民の暮らしを守るために、国民健康保険税の負担軽減に向けた一般会計からの繰出等について、町長の見解を伺います。</p> <p>国は、本年 12 月から健康保険証とマイナンバーカードへの一本化を進めることとしていますが、「他人の医療情報との紐づけ」、「資格確認書やマイナンバーの申請・更新忘れ、紛失等による無保険扱いの危険性」等々、様々な指摘や課題が挙げられており、窓口での混乱による行政サービスの低下につながることも懸念されます。</p> <p>本町として、どのようなことを課題として捉え、どのような準備、対策を検討されているか伺います。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p>

令和6年芽室町議会定例会6月定例会議一般質問

令和6年6月19日再開

質問議員 氏名	質問項目	質問の内容・要旨	答弁を 求める者
正村紀美子 (60分間)	1 「公立芽室 病院経営強化 プラン」の実 現に向けた今 後の展望につ いて	<p>新型コロナウイルス感染症が、感染法上の5類に移行して1年が経過し、アフターコロナの病院経営体制の構築が求められている。そこで、令和5年3月に策定した「公立芽室病院経営強化プラン」の進捗と今後の展望について、町の見解を伺う。</p> <p>① 「公立芽室病院は建設から30年以上を経過し、建物の老朽化や修繕費用の増加が課題となっている。また、職員会館も建設から45年を経過し、同様に老朽化が進んでいる。このことから、施設に係る「今後の整備方針」や「財産活用の展望」について、町の見解を伺う。</p> <p>② 町長は、令和6年度町政執行方針において「公立芽室病院の地域における役割を明確にしながら、経営の改善に向けて全力で取り組む」とし、現在「部門別原価管理会計システム」を導入するなどの創意工夫した経営が実践されている。また、今後、病院に求められる重要な機能のひとつである「地域包括ケアシステム」を推進していくためには、訪問看護等の拡充・充実が重要となると共に新たな財源の確保も必要となる。このことから、経営強化を目指す病院運営にあたり、一般会計からの繰出金の基本的な考え方について、町の見解を伺う。</p>	町長
木村淳彦 (60分間)	1 町長公約の 進捗状況につ いて	<p>手島町政の2期目が2022年からスタートし、現在、任期の折り返しを迎える時期となっています。1期目に引き続き「対話・信頼・行動で次世代へ！輝き続けるまちめむろ」を基本理念とし、公約と共に重点課題を掲げて具体的な取組を進めているものと考えます。そこで、以下3点について、町長の見解を伺います。</p> <p>① 分野別に掲げた多くの重点課題について、総体的にどう評価しているのか、主な成果や課題について、町長の見解を伺います。</p> <p>② これまでの様々な政策の推進にあたり、町民の声を広く聴き、説明・広報し、理解を得る「対話」は十分だったのか、町長の見解を伺います。</p> <p>③ 今後は、少子高齢化のいっそうの進展により、芽室町の人口も確実に減ることが見込まれ、同時に財源確保も厳しい状況が想定されます。当初、公約で示したものを全てを実現させるのではなく、現状の緊急課題、人口減を見据えた質の高い地域経営を目指すべきために、事業転換を図るべく英断も選択肢のひとつと考えますが、町長の見解を伺います。</p>	町長